

統計研修講義計画書

研修課程	国民・県民経済計算	講義科目	国民経済計算の概要	講義時間	8コマ
講師	落合 勝昭 学習院大学経済学部経済学科特別客員教授				

※1コマ70分

講義のねらい

本講義は、一国レベルの経済活動を記録、処理、集計し記述するために用いられる国民経済計算体系の基本的な枠組みを説明する。

本講義を通じて、国民経済計算体系で記述される諸勘定と経済活動の対応関係が理解できるようになるとともに、経済の動向を国民経済計算体系から捉えられるようになることを目的としている。

指導項目と内容

指導項目	内 容
(1) 国民経済計算体系とは何か	国民経済計算体系の目的と成立の流れとを概観する
(2) 国民経済計算体系における経済主体と財の分類	国民経済計算体系で捉える経済活動について経済主体や財がどのように分類されているのかをマクロ経済学の基本的な考え方と合わせて説明する。
(3) 国民経済計算でみた経済循環	国民経済計算体系での財やお金の流れ、経済主体間のつながりがどのようになっているかを説明する。
(4) 国民経済計算の勘定体系	国民経済計算体系の勘定体系と各勘定の基本的な勘定項目について国民所得勘定を中心に説明する。
(5) 名目と実質	実質値を推計する意義と、実質値の計算方法としての連鎖方式と固定基準年方式の違いについて説明する。
(6) FISIM およびサテライト勘定	FISIM（間接的に計測される金融仲介サービス）とサテライト勘定について説明する。
(7) QE（四半期別GDP速報）	QE推計の意義と推計方法の概略を説明する。

講義形態 指導方法	講師による説明
受講に必要な 基礎知識等	特になし